



小田小だより

平成25年11月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校



「無名兵士の言葉」

～秋の夜長に手にした本に思いを寄せて～

学校長 木村 昭雄

次の詩は、「無名兵士の言葉 ～人間を幸せにするものは何か～」（加藤諦三著 大和書房）という本に記されている作者不詳の無名詩です。3年前の校長研修会で講演者の方から紹介され、帰りがけに早速本屋に立ち寄って購入し、今も時々手にする一冊です。

大きなことを成し遂げるために
強さを求めたのに
謙遜を学ぶようにと
弱さを授かった

偉大なことができるようにと
健康を求めたのに
より良きことをするようにと
病気を賜った

幸せになろうとして
富を求めたのに
賢明であるようにと
貧困を授かった

世の人々の賞賛を得ようと
成功を求めたのに
得意にならないようにと
失敗を授かった

人生を楽しむために
あらゆるものを求めたのに
あらゆるものを慈しむために
人生を賜った

求めたものは一つとして
与えられなかったが
願いはすべて聞き届けられた
私は もっとも豊かに祝福された

実は、平成14年3月に、中日新聞の小出信昭編集局長が、受験に失敗した若者たちを励まそうと書いたコラムで、この無名詩を紹介したことがありました。150年近くも前のアメリカ南北戦争の「無名兵士の言葉」は、読者からかつてないほどの反響を呼んだと言います。その後、早稲田大学の加藤諦三教授が解説を加え、上記の書名で出版されました。かくも古い言葉が、かくも時代を超え、海を超え、数え切れない人々の心を揺さぶったという事実には大きくなずくことができます。珠玉の言葉だと思います。失敗や敗北の中には、人間の尊大さや放漫をいさめ、人生を深める滋養が溢れていることを、確信をもって語りかけてきます。

本との出会いが素晴らしいのは、こうしたあらたな感動や発見があること、著者の思いにふれることができること、生き方を学ぶこと等があります。

終戦間もない昭和22年、まだ戦火の傷痕が至る所に残っている中で、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社、取次会社、書店と公共図書館、そして新聞・放送・マスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回「読書週間」が設定されました。その時から67回目を迎える読書週間が、10月27日から始まっています。今年の読書週間の標語は「本と旅する 本を旅する」です。この秋、どうかたくさんさんの素敵な本との出会いがあり、素敵な旅が始まりますように・・・。